ステラ・ダラス（1937）

STELLA DALLAS

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 106分
初公開日 1938/12
公開情報 劇場公開

【解説】

サミュエル・ゴールドウィンが、２５年のサイレント版に続き、演技派スタンウィック主演で、お気に入りの“母もの”ストーリーを再び映画化。積極果敢な女性ステラは、自分からアタックして、将来有望な工場の法律顧問を亭主にする。やがて二人の間に娘が出来、ステラは娘を溺愛する。しかし虚栄心から贅沢を続ける彼女に、夫の心はいつしか離れていく。寂しさを紛らわすためステラはますます浪費を続け、ついには離婚してしまう。夫の再婚相手が上流階級の優雅な婦人であることを知り、自分の粗野な性格を恥じていたステラは、彼らに娘を託して姿を消す。日本人にはステラの前半の自己主張が理解しづらいかも知れないが、ラスト、娘の結婚式の晴れ姿を、そぼ降る雨の屋外から見守るシーンは、監督ヴィダーの名人芸もあって、理屈なしに泣ける出来である。９０年のＢ・ミドラー主演による「ステラ」は、息子ゴールドウィンの製作によるリメイク。

【クレジット】

監督	キング・ヴィダー	King Vidor
製作	サミュエル・ゴールドウィン	Samuel Goldwyn
原作	オリーヴ・ヒギンズ・プローティ	Olive Higgins Prouty
脚本	サラ・Ｙ・メイソン	Sarah Y. Mason
	ヴィクター・ヒアマン	Victor Heerman
撮影	アーサー・エディソン	Arthur Edeson
音楽	アルフレッド・ニューマン	Alfred Newman
出演	バーバラ・スタンウィック	Barbara Stanwyck
	ジョン・ボールズ	John Boles
	アン・シャーリー	Anne Shirley
	バーバラ・オニール	Barbara O'Neil
	アラン・ヘイル	Alan Hale
	ティム・ホルト	Tim Holt
	マージョリー・メイン	Marjorie Main
	ラレイン・デイ	Laraine Day

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.